

～学校・保護者・地域をつなぐ学校だより～

椿キッズ

We are Tsubaki-kids.

第38号

鈴鹿市立椿小学校
Tel. 059-371-1014

令和3年12月21日

🐰 3年生独自ワールド炸裂！！「うさぎのげき」という劇



飼育係がうさぎ小屋に駆けつける⇒

たちが登場し、「筋肉うさぎ？」という悪うさぎが起こした事件を解決するというものでした。日常を題材とし、脚本、ナレーション、舞台美術、小道具などとても丁寧に仕立ててあり、自分たちでここまで仕上げてくるなんて、すごいことです。子どもたちは、「椿ワールド」の経験が活きているのか、堂々と楽しく演じていて、独自の文化をはぐくんでいるのだなあと感じました。今後の進化も楽しみです。

「ももたろう PART1」に続き、またまた、3年生の有志による劇の発表会がありました。といっても朝の会の短い時間を活用しての発表で、職員室にいた職員が招待されました。

休み時間を利用して、コツコツ準備していたのでしょう。物語は、今年度椿小に来てくれた3羽のうさぎたちと生まれた子うさぎたち、そしてそのお世話をする飼育員の子ども



有志全員でカーテンコール♪

🍷 5, 6年生の食育授業～栄養バランスよく食べられるように



脂質を含んでいるものは？…(「忡」)

12月16日(木)に食育授業がありました。今年度はこれが最終です。栄養教諭の横山先生に、給食を例に、5年生は栄養素のはたらきや食べ物との関係を、6年生は主食・主菜・副菜・汁物で偏りなく献立を立てる方法を教えていただきました。自立の中で、食生活の自立は最重要です。食べたもので自分の身体が作られることを意識して、体調管理ができたり、やがては自力で食事を整えられたりできるようになってほしいと思います。毎日の給食でも食育は続けていきます。

★保護者の皆様へ…「第2回学校アンケート」のお願い

本日よりあゆみ渡しお世話になります。昨日お渡ししてあります学校アンケートへのご回答を、大変お忙しい中申し訳ありませんが、12月23日(木)までにお願いいたします。
お子様一人につき一回答となっております。これは、学校運営の反省と課題把握、来年度への改善を目標に行うものです。お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

Bom Diaボンジーア※～国際交流学習でブラジルの文化を体験

12月15日（水）に県のダイバーシティ社会推進課より、ロッシ・ウィルソンさんに来ていただき、ブラジルの地理、自然、文化、挨拶などを教えていただき、その後、ブラジルの子どもたちが楽しむ遊び「アメーバ」「ブラジルドッチ」を体験しました。紹介の中で、ブラジルは地球上で日本の真反対にある国だから、気候も時間も真反対であり、国土は日本の23倍もあり、同じ国なのにロッシさんは北部のアマゾン地方に行ったことがないそうで、鉄道も全土にはなく、首都リ



オデジャネイロの都会ぶりはすごく、6車線くらいの道に車がびっしり走っている様子がわかりました。その他、日本にはいない動物や独自の料理などに、子どもたちは興味津々でした。これを機会に、いろいろな国の文化に触れて視野を広めたり、自分と違う価値観や文化を受け入れたりして、互いに尊重し共存していける社会の担い手となってほしいです。

第5回学校運営協議会開催！！

12月16日（木）に第5回目の学校運営協議会を開催しました。2学期後半の学校行事や、校区の人権にかかわる催し、また6日（月）に行われた校区の拡大学校運営協議会に参加していただいたの情報交流を行いました。

委員のみなさんからは、拡大協議会で校区の情報交換ができた成果や学校においては行事や体験活動を経ての高学年の成長ぶりを褒めていただきました。また、コロナ禍においても、さつまいもの栽培、チューリップの苗植えなど学校と地域が連携しての行事が少しでもできたことや、先日のマ



ラソン記録会に保護者や地域の方が応援に駆け付け、子どもも大人もお互いに元気をもらい合ったように感じたことなどをお聞きし、改めて地域とともにある学校の大切さとありがたさを実感しました。

一方、ICTの導入にかかわって、各家庭で混乱はないか、ついていけない子どもはいないのか、第6波が来た時の対応はどうなっているかなど、今後に向けての心配もしていただきました。家庭学習や読書活動は少しずつ良くなってきているので、継続できるようICT活用も含めて、学校現場の課題とさせていただきます。ありがとうございました。

